

金融懇談会 開催

本会は9月5日、(株)商工組合中央金庫千葉支店において「平成23年度第1回金融懇談会」を開催した。

当日は、本会から佐藤専務理事、藤原常任理事ら15名が参加、また(株)商工組合中央金庫からは石黒千葉支店長、田村松戸支店長はじめ13名が出席した。

情報交換をテーマに開催された同懇談会では、はじめに(株)商工組合中央金庫の石黒千葉支店長から「最近の金融情勢」を、本会からは「県内組合設立状況」と「県内業界動向」についてそれぞれ報告を行った。その後、参加者間での意見交換を深めた。

産学連携交流会 開催

本会は9月7日、千葉県異業種交流融合化協議会(会長 田村修二)とともに、中小企業及び中小企業組合の新技术・新産業の創出並びに大学との研究開発ネットワークの構築を目的とした「産学連携交流会」を市内にて開催した。

当日は、千葉大学産学連携・知的財産機構 知的財産活用チーム 村上武志特任教授による『千葉大学産学連携・知的財産機構の概要』をテーマとした「機構における産学連携取組事例」についてのご講演に加え、『研究者プレゼンテーション』として、千葉大学大学院工学研究科 斎藤恭一教授、申田正人准教授、並木明夫准教授から、それぞれ「接ぎ木重合法によるセシウム吸着繊維の開発」、「燃料電池用カーボンナノチューブの作製とバイオエレクトロニクスへの応用」、「ロボット用対象追跡・計測システム」についての発表が行われた。

また、今回の産学連携交流会では、参加企業及び組合から、千葉大学の教授や産学連携アドバイザーに技術相談を行う「技術相談会」が設けられ、自社の抱える技術課題についての相談が行われた。

平成23年度「ふさの国商い未来塾」スタート

千葉県及び本会は9月14日、平成23年度「ふさの国商い未来塾」をスタートした。この取り組みは、地域住民の快適な生活を支え、楽

しみや触れ合いに満ちた暮らしの広場を提供している商店会の活動支援を主眼に実施するもので、活力ある地域づくりを担う優れた人材を養成するための講座として、今年度は全7回のカリキュラムで構成されている。

第1回目(9月14日)では、「地域商店街の役割と商店街の組織化について」と題し、地域コミュニティの担い手としての商店街の役割と商店街組織化の目的及びそのメリット・デメリット等について学ぶとともに、「商店街づくりと街づくり」をテーマに、商店街づくりと併行して街づくりを実践してきた柏の商店街を事例研究した。

第2回目(9月28日)では、「一店逸品運動による個店の魅力向上策について」と題し、こだわりの商品や独自のサービスで店と街の魅力を高める一店逸品運動について、その発祥の地である静岡呉服町の取り組みを通じてその真髄を学んだ。

なお、今後のスケジュールとしては、第3回「市民参加型のイベントによる街の活性化」、第4回「がんばれ！商店街リーダーの役割とその実践」、第5回「地域消費

者のニーズに合わせた商店街づくり」、第6回(埼玉県秩父市、東京都青梅市にて)「現地講義・視察」、第7回「商業施策について」・「個店活性化の秘訣」・「商店街活性化の秘訣」・「地域商店街の活性化に向けて」をテーマに講座を展開する予定となっている。

組合士養成講習会スタート

本会は、12月4日(日)に行われる「中小企業組合検定」の受験対策を兼ねた講習会を、千葉市内にて9月21日にスタートさせた。

この講習会は、組合実務に精通した「中小企業組合士」の養成を目的に開催しているもので、今年度は11月9日迄の延べ6日間にわたって行われる。

内容は、検定試験科目である「組合会計」「組合制度」「組合運営」の3科目について、過去の出題傾向に基づき、演習問題を中心とした講義で構成されている。

◎講習会開催期間中は参加申込みを随時受け付けております(経営支援部)。試験に向けての準備は今からでも十分間に合いますので、皆さま奮ってご参加下さい。